

「感染症内科 ただいま診断中！〈1版2刷〉」正誤表  
(2017年11月現在)

このたびは「感染症内科 ただいま診断中！〈1版2刷〉」をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本書に以下の誤り・加筆がございましたので、ここに訂正・加筆させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

379頁 表14-4 小腸型・大腸型・穿通型の特徴と病原微生物

(誤) 毒素原生大腸菌 (ETEC)

(正) 毒素原性大腸菌 (ETEC)

	小腸型	大腸型	穿通型
機序	非炎症性(エンテロトキシン, 上皮吸着・表面的な浸潤)	炎症性 (侵襲性, 細胞毒素)	穿通による
部位	上部小腸	大腸	下部小腸
便	水様便 便中白血球なし	血便 便中に多核白血球	便中に単核球
随伴症状	嘔気・嘔吐	渋り腹, 下腹部痛, 発熱	発熱, 敗血症症状
原因微生物	【ウイルス】 ロタウイルス ノロウイルス  【細菌】 <i>Vibrio cholera</i> 毒素原性大腸菌 (ETEC) 腸管病原性大腸菌 (EPEC) 腸管凝集性大腸菌 (EAEC) <i>Clostridium perfringens</i> <i>Bacillus cereus</i>	【細菌】 赤痢菌 腸管侵入性大腸菌 (EIEC) 腸管出血性大腸菌 (EHEC) <i>Salmonella enteritidis</i> <i>Vibrio parahaemolyticus</i> <i>Clostridium difficile</i>	【細菌】 <i>Salmonella typhi</i> <i>Yersinia enterocolitica</i> <i>Campylobacter fetus</i>

384頁 表14-7 毒素型細菌性食中毒

(誤) 24~18 時間

(正) 18~24 時間

微生物	潜伏期	症状と所見	症状の持続期間	関連する食事歴
<i>Bacillus cereus</i> (下痢型毒素)	10~16 時間	腹部疝痛, 水様性下痢, 嘔気	18~24 時間	肉, シチュー, グレイビーソース, パニラソース
<i>Bacillus cereus</i> (嘔吐型毒素)	1~6 時間	突然発症の重度の嘔気・嘔吐 下痢は見られることもある	24 時間	不適切に冷蔵・調理された炒飯, 肉

398頁 表14-17 CDIの重症度と関連するリスク

(誤) 上記 + **細菌**の手術歴, 炎症性腸疾患, 免疫グロブリンの点滴

(正) 上記 + **最近**の手術歴, 炎症性腸疾患, 免疫グロブリンの点滴

表14-17 CDIの重症度と関連するリスク

CDIの重症度	臨床像と検査所見	関連するリスク因子
軽症から中等症	感染症の全身症状なし 白血球数<15,000/ $\mu$ L 血清 Cre<ベースラインの1.5倍	抗菌薬使用, 過去の入院, 長期入院, PPIの使用, 化学療法, CKD, 経管栄養
重症	感染の全身症状 ± 白血球数 $\geq$ 15,000/ $\mu$ L もしくは 血清 Cre $\geq$ 前値の1.5倍	高齢, BI/NAP1/027株の感染
重症, 複雑性	低血圧, イレウス, 中毒性巨大結腸を含む感染症の全身 症状	上記 + <b>最近</b> の手術歴, 炎症性 腸疾患, 免疫グロブリンの点滴
再発	CDIの治療完了後8週間以内の再発	65歳以上, 抗菌薬使用中, 併存症, PPI使用中, 初回感染が重症

(Bagdasarian N, et al. JAMA. 2015; 313 (4): 398-408)<sup>21)</sup>

399頁 表14-18 CDIの重症度

(誤) 血液アルブミン値, 2.5 g/dL,

(正) 血液アルブミン値<2.5 g/dL,

表14-18 CDIの重症度

重症度	臨床症状と検査所見
無症候性キャリア	症状・所見なし
軽症	軽度の下痢 (3~5回/日), 無熱, 軽度の腹部不快感もしくは圧痛 目立った検査所見なし
中等症	中等度の下痢 (非血性), 中等度の腹部不快感もしくは圧痛 嘔気 (たまに嘔吐), 脱水 白血球数>15,000/ $\mu$ L, ベースラインより尿素窒素・Creの上昇
重症	重症・血性下痢, 偽膜性大腸炎, 重篤な腹痛, 嘔吐, イレウス, 体温>38.9°C 白血球数>20,000/ $\mu$ L, 血清アルブミン値<2.5 g/dL, 急性腎障害 (AKI)
複雑性	中毒性巨大結腸, 腹膜炎, 呼吸不全, 循環動態が不安定

(Leffler DA, et al. N Engl J Med. 2015; 372 (16): 1539-48)<sup>42)</sup>

「感染症内科 ただいま診断中！〈1版1刷〉」正誤表  
(2017年11月現在)

---

このたびは「感染症内科 ただいま診断中！〈1版1刷〉」をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本書に以下の誤り・加筆がございましたので、ここに訂正・加筆させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

---

77頁 表3-17 表タイトル

(誤) 循環血液減少性ショック身体診察の精度

(正) 心原性ショック身体診察の精度

表3-17 心原性ショックの身体診察の精度

	感度	特異度	陽性尤度比	陰性尤度比
JVP	82%	79%	3.9	0.23
Crackles	55%	71%	1.90	0.63
JVP + Crackles	55%	100%	∞	0.45

(Vazquez R, et al. J Hosp Med. 2010; 5 (8): 471-4)<sup>20)</sup>